

| 整理No. | まちづくりの目標 | 後期基本計画 施策項目 | 事業名称 | 事業の概要 | 事業 主体 | 平成26年度 予算額 | 平成26年度 決算額 | 実績 | 事業実施による問題・課題及び対応 | 部の名称 |
|-------|-----------------------------|----------------|---------------------------------------|---|----------|---------------|---------------|---|---|------|
| 1 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 1. 農林水産業 | 一関のめぐみブランド化推進事業 | 一関産農産物のブランド化を推進するため、JAや生産組織等が実施する販売促進活動を支援する。 | 市 | 2,034 | 1,623 | 一関の「野菜・花き・肉用牛・米」等の農産物の需要拡大と有利販売を促進するため、首都圏での産地PR活動やJA及び生産団体等が実施する販売促進活動の支援などにより、消費者及び市場関係者への宣伝活動に取り組んだ。 1. 市内JAの合同販売促進活動として、首都圏等における一関産野菜販売促進フェア(都内1店舗、盛岡1店舗で実施)等を実施。 2. 首都圏において地方自治体等が行う販売促進活動を支援する民間のアンテナショップ・レストラン(東京都中央区日本橋)を活用し、1か月間限定で一関産の食材を使ったコース料理等の提供を行い、消費地での認知度向上に取り組んだ。 3. 全国地ビールフェスティバルにおいて、料理出店業者に産地PRメニューを開発し提供してもらうための食材として、一関産の「なす」、「きゅうり」、「トマト」、「ピーマン」を提供し、来場者に対する夏野菜の産地PRを実施。 4. 産地宣伝用の電飾看板広告をJRノ関駅構内に設置。 5. 当市の主力野菜(なす、ピーマン、トマト、きゅうり)を紹介するリーフレットなどを作成し、首都圏などでの販売促進活動や観光客へのPR活動等に活用。 | 1. 従来の消費者をターゲットとした取り組みを継続する一方、市場関係者や大手小売店のバイヤー、報道機関など、大きな影響力を持つと目されるターゲットに対するPR活動を強化する必要がある。 2. 農産物に限らず、当市で生産される加工食品や特産品と合わせた、一体的な売り込み&ブランド化を進めていくため、産品全体の「産地外商」活動との連携を促進していく必要がある。 | 農林部 |
| 2 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 1. 農林水産業 | 多面的機能支払制度分担金 ※H25まで農地・水・環境保全向上対策事業分担金 | 県が実施する農地・水・環境の保全活動に取り組む団体への交付金に対する分担金。 | 県 | 157,467 | 156,447 | 「日本型直接支払制度」のうちの「農地維持支払」と「資源向上支払」を「多面的機能支払」として平成23年度より取り組まれてきた農地・水管理支払を拡充し「中山間地域直接支払」の対象農地まで拡充して支援する制度で、平成26年度は167活動組織に交付した。(一関56、花泉43、大東22、千蔵16、東山11、室根4、川崎3、藤沢22) | ・取組み組織及び対象面積の拡充推進を図る。(国の掲げている目標値:農振農用地面積比60%) ・農業者の高齢化に伴い、事務のなり手がいないことから、取組区域の広域化と事務の効率化及び事務委託の推進が課題である。 | 農林部 |
| 3 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 1. 農林水産業 | 民有林間伐等事業補助金(一関地域) | 森林の健全化及び公益的機能の促進を図るため、民有林整備に要する経費の一部を補助する。 | 所有者 | 2,000 | 0 | 適正な森林資源の造成及び森林の有する公益的機能の増進を図るため、森林組合等が実施した除間伐等の森林整備事業に対し助成した。 | いって環境の森事業(補助率100%)が継続されており、本事業支援対象としている事業での実施が少なくなっている。 また、樹種転換への支援が県事業適用外のみを支援対象としており、事業主体では申請しづらいものとなっている。 本年度、それらを見直し要綱の一部改正を予定している。 | 農林部 |
| 4 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 1. 農林水産業 | 民有林間伐等事業補助金(花泉地域) | 〃 | 所有者 | 1,300 | 57 | 下刈り 3.28ha 57千円 | | 農林部 |
| 5 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 1. 農林水産業 | 民有林間伐等事業補助金(大東地域) | 〃 | 所有者 | 4,000 | 3,616 | 人工造林 16.14ha 2,015千円 下刈り 85.33ha 1,599千円 除間伐 0.11ha 2千円 計3,616千円 | | 農林部 |
| 6 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 1. 農林水産業 | 民有林間伐等事業補助金(千蔵地域) | 〃 | 所有者 | 1,200 | 2,397 | 人工造林 3.11ha 430千円 下刈り 25.78ha 498千円 除間伐 19.64ha 1,469千円 計2,397千円 | | 農林部 |
| 7 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 1. 農林水産業 | 民有林間伐等事業補助金(東山地域) | 〃 | 所有者 | 1,100 | 306 | 人工造林 1.11ha 181千円 下刈り 6.25ha 116千円 除間伐 0.51ha 9千円 計 305千円 | | 農林部 |
| 8 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 1. 農林水産業 | 民有林間伐等事業補助金(室根地域) | 〃 | 所有者 | 5,200 | 1,828 | 人工造林 4.64ha 594千円 下刈り 9.47ha 183千円 除間伐 13.19ha 1,051千円 計 1,828千円 | | 農林部 |
| 9 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 1. 農林水産業 | 民有林間伐等事業補助金(川崎地域) | 〃 | 所有者 | 1,200 | 25 | 下刈り 1.31ha 25千円 | | 農林部 |
| 10 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 1. 農林水産業 | 民有林間伐等事業補助金(藤沢地域) | 〃 | 所有者 | 1,800 | 1,181 | 人工造林 4.28ha 553千円 下刈り 21.58ha 400千円 除間伐 11.06ha 228千円 計 1,181千円 | | 農林部 |
| 11 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 1. 農林水産業 | 中山間地域等直接支払交付金事業 | 中山間地域等の農地の適切な維持管理のため、平場との生産条件格差に対する交付金。 | 農業者等 | 1,215,928 | 1,215,186 | ・交付対象農用地 82,765,116㎡ ・協定数 304 (集落協定 300 個別協定 4) 一関地域97、花泉地域95、大東地域9、千蔵地域28、東山地域22、室根地域21、川崎地域11、藤沢地域21 | ①米価の下落等、生産・販売収入が減少する中、耕作農地は基より、休耕農地も含めた保全活動により、耕作放棄農地を防止し、市内の農地の維持管理に有効な制度ではあるものの、協定参加者の高齢化と減少により、継続が困難な集落も見受けられる。 ②市の事務処理体制について、平成17年の市町村合併以降、旧市町村地域ごとの処理体制が継続してきている、処理体制の調整・統一と、情報の共有・一元管理が必要。 | 農林部 |

H26実施計画事業 先導的事業抜出一覧

単位:千円

| 整理No. | まちづくりの目標 | 後期基本計画 施策項目 | 事業名称 | 事業の概要 | 事業 主体 | 平成26年度 予算額 | 平成26年度 決算額 | 実績 | 事業実施による問題・課題及び対応 | 部の名称 |
|-------|-----------------------------|----------------|---------------------|---|----------|---------------|---------------|--|---|-------|
| 12 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 1. 農林水産業 | 農村地域づくり活動支援員設置事業 | 国の「地域おこし協力隊」制度を活用し、中長期的な観点から農村地域活性化モデル地域の支援を行う。 | 市 | 6,402 | 5,909 | 平成25年度に引き続き2名の支援員を配置し、一関市農村地域活性化モデル事業で採択した地域の活動を支援した。 2名の支援員は西地区(一関、花泉地域)と東地区(大東、千厩、東山、室根、川崎、藤沢地域)をそれぞれ支援地域とし、11の組織の取組に対し、地域の人たちが持たない専門的な知識や地域外の者としての新しい視点等をもって地域と一体となり組織の運営を支援してきた。 | 一関市内の8地域に対して2名の支援員の配置であり、地域に比して支援員の数が少ない状態である。 支援員の任期が3年以内となり、生活支援・就職支援を進めることにより、現支援員の任期後に定住・定着が図れるようにすることが理想である。 | 農林部 |
| 13 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 2. 工業・中小企業 | 岩手県南技術研究センター運営費補助金 | 県南技術研究センターの機器の修繕費、施設の維持管理に対し補助する。 | 財団法人 | 30,538 | 30,538 | 試験分析機器利用件数 【H26年度実績】910件 (H25年度実績) 856件 主な利用企業 株式会社通セナルエレクトロニクス、(株)デジアイズ、SWS東日本(株)、一関ヒロセ電機(株)、三光化成(株)、(株)倉本製作所、ケミコン岩手(株)、(株)ミズサワセミコンダクタ、アズマプレコート(株)、一関製箔(株)ほか | 企業からの分析・依頼相談等の件数が増加していることから、技術職員の増員が課題であったが、H27年度から技術職の臨時職員を採用し対応している。技術職員の技術向上や継続的対応の観点から正職員化が望まれる。 施設や分析機器が老朽化していることから、修繕に要する費用が増加傾向にある。 | 商工労働部 |
| 14 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 2. 工業・中小企業 | 新製品・新技術開発事業費補助金 | 市内事業所が県南技術研究センター等と共同で行う新製品・新技術の開発経費に対し補助する。 | 企業等 | 746 | 0 | 【H26実績】なし (H25実績) 1件 171,476円 | 公募及び随時募集により募集を行ったが、実施者がいなかった。 小規模な企業からは、1/2補助であるが1/2の自己負担が捻出できないとの意見があった。 | 商工労働部 |
| 15 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 2. 工業・中小企業 | 一関市中小企業振興資金利子補給補助金 | 一関市中小企業振興資金貸付制度を利用した企業に対し、市が利子の一部を補助する。(新規貸付分) | 市・企業等 | 37,164 | 34,151 | 新規貸付件数 108件 年度末融資残件数/融資残額 564件 / 2,078,730千円 | ・低利な市制度資金として利用されているものの、他の有利な制度資金が創設されているため現状では利用率が低下している。 ・東日本大震災復興資金への利子補給を廃止することにより(※H28年度廃止で実施計画計上)、設備資金融資を当該資金で借り受けていたものが出来なくなり、中小企業振興資金へ戻ってくる可能性がある。 ・旧藤沢町分貸し付けあり。(～H33年度) | 商工労働部 |
| 16 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 2. 工業・中小企業 | 一関市中小企業振興資金保証料補給補助金 | 一関市中小企業振興資金貸付制度を利用した企業に対し、市が保証料の一部を補助する。(新規貸付分) | 市・企業等 | 23,609 | 10,345 | 新規貸付件数 108件 年度末融資残件数/融資残額 564件 / 2,078,730千円 | ・低利な市制度資金として利用されているものの、他の有利な制度資金が創設されているため現状では利用率が低下している。 ・東日本大震災復興資金への利子補給を廃止することにより(※H28年度廃止で実施計画計上)、設備資金融資を当該資金で借り受けていたものが出来なくなり、中小企業振興資金へ戻ってくる可能性がある。 ・旧藤沢町分貸し付けあり。(～H33年度) | 商工労働部 |
| 17 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 2. 工業・中小企業 | 企業の魅力発信力向上事業 | 市内企業の情報発信について、情報発信の大切さ、IT等の活用方法に関するセミナー等を開催する。 | 市 | 3,287 | 1,769 | 1. 情報発信・IT活用セミナーの開催 【H26年度実績】H26年11月6日開催/18名参加 120千円 ※平成23年度新規事業(「企業の魅力発信力向上事業」により実施) 2. 取引支援促進事業費補助金 【H26年度実績】6回(6社)/904千円 ※平成22年度から実施(「取引支援促進事業費補助金」) 3. 企業PRパネル製作費補助金 【H26年度実績】5回(5社)/245千円 ※平成24年度から実施(「企業ピーアールパネル等製作事業補助金」) 4. 地域企業情報ガイダンスの開催 【H26年度実績】H26年11月8日開催/46社出展、342名来場 500千円 ※平成20年度から実施(「地域企業情報ガイダンス開催事業」) | | 商工労働部 |
| 18 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 2. 工業・中小企業 | 立地企業操業支援補助金 | 新規立地企業の操業にあたり、新規採用者の人材育成に係る経費と社員研修費等の経費に対し補助する。 | 企業等 | 3,420 | 1,000 | 【H26年度実績】 補助対象企業(新規)1社 1,000千円 * H23～25年度の実績 H23年度 1,105千円(2社) H24年度 2,370千円(3社) H25年度 1,329千円(2社) | | 商工労働部 |
| 19 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 3. 雇用・勤労者 | ジョブカフェ関連運営事業 | 若年者、新規高卒者の就業支援を図るため、ジョブカフェ関に就職アドバイザーを配置する。 | 市 | 7,329 | 7,254 | 若年者の就業支援のため設置された「ジョブカフェ関」に、就職アドバイザー3人を配置し、各種就業相談、カウンセリング等を実施。 | 相談内容が複雑化してきており、対応する側の資質の向上が求められてきている。相談内容により適切な相談機関等の紹介を行っている。 | 商工労働部 |
| 20 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 3. 雇用・勤労者 | 地域企業パワーアップ支援事業 | 企業の人材育成手法の向上を目指し、若手社員の就業定着などを図るため、新入社員や女性管理者等を対象としたセミナーを開催する。 | 市 | 1,050 | 1,002 | 【セミナー開催実績】 ・中堅及び管理者等女性社員向けセミナー 2回開催 受講者数49名 (女性社員キャリアアップ! 人材育成セミナー、女性管理者等リーダーシップセミナー) ・新入社員向けセミナー 2回開催 受講者数49名 (社会人としての基本的なマナーとコミュニケーション能力アップ) ・市長と話そう! 新入社員社会人基礎力向上事業 1回開催 参加者48名 | ・若者の早期離職防止が課題であることから、就業定着を図るため新入社員及び人材育成担当者等を対象としたセミナーを実施している。 | 商工労働部 |
| 21 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 3. 雇用・勤労者 | 新規高卒者ふるさと就職支援事業補助金 | 新規高卒者の地元就職と職場定着を図るため、新規高卒者を採用した雇用主に対し研修費用を補助する。 | 事業主 | 13,895 | 10,483 | ・事業所数 58社 ・支払総額 10,483,334円 | | 商工労働部 |

| 整理No. | まちづくりの目標 | 後期基本計画 施策項目 | 事業名称 | 事業の概要 | 事業 主体 | 平成26年度 予算額 | 平成26年度 決算額 | 実績 | 事業実施による問題・課題及び対応 | 部の名称 |
|-------|-----------------------------|---------------------|----------------------------|---|----------|---------------|---------------|--|---|-------|
| 22 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 3. 雇用・勤労者 | キャリア教育支援事業 | 若者の人材育成、社会人基礎力の向上のため、キャリア教育に係る支援員を配置する。 | 市 | 6,048 | 5,474 | 若年者や学生の人材育成、社会人基礎力の習得を目的として「ジョブカフェ関」に、就職アドバイザー(キャリア支援担当)2名を配置し、学校、企業等からの要請に基づき、キャリアサポーターによる出前講座等を実施した | 様々な職業選択に対応できるよう、キャリアサポーターの増員等が課題となっていることから、随時募集を行っている。 | 商工労働部 |
| 23 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 4. 商業 | 商店街活性化事業補助金(空き店舗入居支援事業補助金) | 市街地商店街の空き店舗で新たに店舗を開設する際の内外装工事費用に対し補助する。 | 事業者 | 9,468 | 5,468 | [実績] 一関地域内1店舗 ①夢きらら(飲食業) 1,000,000円 | ・補助を活用し開店するものの、思うように利益があげられず閉店する店舗がある。(H12～H26の交付実績35店舗、うち20店舗閉店(57%)) ・対象を商店街としているものの、川崎地域は商店街(会)が無い状況である。 ・店舗要件として、幹線道路沿いの路面店の1階を含むとなっており、かなり限定された区域となっている。※各地域のエリアや店舗要件緩和について、商工会議所と調整中 | 商工労働部 |
| 24 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 5. 観光 | 大型観光キャンペーンPR事業 | 仙台・宮城アフターDCに参加し、一関市の観光資源を全国にPRする。 | 実行委員会 | 695 | 514 | 仙台・宮城フラワースタンダラリー 30千円 観光PR用ノベルティ作成 484千円 | | 商工労働部 |
| 25 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 5. 観光 | 観光地間二次交通整備事業 | 周遊観光の促進を図るため、観光地間(狛鼻溪～平泉)のバスの運行補助、レンタカー利用者への地場産品のプレゼントを行う。 | 市 | 4,400 | 4,400 | ○狛鼻溪～平泉間バス乗車人員実績 平成23年度 1,303人、平成24年度 2,292人、平成25年度 1,776人、平成26年度1,862人 ○厳美溪～本寺間バス乗車人員実績、レンタカー利用者実績 平成23年度 35人、平成24年度 52人、平成25年度 42人、平成26年度廃止 ○事業費決算 平成23年度 3,748千円、平成24年度 4,123千円、平成25年度 4,322千円、平成26年度4,400千円 | | 商工労働部 |
| 26 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 5. 観光 | 一ノ関駅構内における観光案内事業 | 世界遺産「平泉」の玄関口である一ノ関駅の観光案内を強化するため、一ノ関駅構内(新幹線改札口前)に臨時観光案内所を設置する。 | 市 | 772 | 4,982 | ○狛鼻溪～平泉間バス乗車人員実績 平成23年度 1,303人、平成24年度 2,292人、平成25年度 1,776人、平成26年度1,862人 ○厳美溪～本寺間バス乗車人員実績、レンタカー利用者実績 平成23年度 35人、平成24年度 52人、平成25年度 42人、平成26年度廃止 ○事業費決算 平成23年度 3,748千円、平成24年度 4,123千円、平成25年度 4,322千円、平成26年度4,400千円 | | 商工労働部 |
| 27 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 5. 観光 | 外国人に対する観光案内事業 | 一ノ関駅での観光案内を強化するため、外国語(英語・中国語)案内人を配置する。 | 市 | 4,220 | 772 | 開所日数 156日 従事延べ人数 193名×4,000円=772,000円 平成23年度 756,000円 平成24年度 764,000円 平成25年度 764,000円 平成26年度 772,000円) | | 商工労働部 |
| 28 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 6. まちづくり | 国際リニアコライダー調査事業 | 国際リニアコライダーに関する市民啓発を行うほか、(仮称)学術研究都市構想を策定する。 | 市 | 23,700 | 17,667 | 【H26年度実績】 1. ILCについての理解と関心を高め、ILCの実現に向けた普及啓発を図るための講演会を開催 東北の未来を切り拓く国際リニアコライダー(ILC)講演会 11月22日、一関文化センター、参加者約350人 2. いちのせきサイエンスカフェ 開催回数5回(うち特別開催1回)、参加者数169人(うち特別開催73人) 3. いちのせきリニアコライダー通信「ILCニュース」の発行 第9号～第12号、発行部数 各53,500部 (市内全世帯に配布したほか、岩手県をはじめ関係機関、団体等に配布) 4. 移動式ILCジオラマの作製 5. 普及啓発グッズの作製 ピンバッジ:1,000個、メモ帳:2,000個、メッセージペン:800本等。 いちのせきサイエンスカフェ等で配布 6. パネル、チラシ等の作製 (1) パネル ILCイラストパネル A1判、17枚 地図パネル(市長応接室)、1枚 (2) チラシ A4判両面印刷、3,000部等(奥州市及び気仙沼市と合同作製) (3) パンフレット A4判観音開き、日本語版・英語版 各1,000部等 地域の取組・活動紹介 | 研究者組織により国内候補地は北上サイトとされたものの、オールジャパンの体制とはなっていない。 政府はまだ、ILCの日本への建設誘致について正式に表明しておらず、また、日本学術会議では、建設費用・ランニングコストが多額なことや研究者の人材不足などを懸念事項として指摘。 国際研究者組織であるLCCのディレクター、リン・エバンズ氏は、今後、北上サイトに限定し、ILCの詳細設計を行っていくと明言したものの、具体的な建設スケジュールやキャンパス・アクセシブルな坑口の場所についてはまだ決まっていない。また、ILC関連施設の整備など、研究機関・国・県・市町村の役割分担が明確にされていない。 | 市長公室 |
| 29 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 7. 一ノ関駅と中心市街地の戦略的活用 | 歴史の小道整備事業 | 市街地の回遊、散策、憩いの場として、中街を整備し、安全で安心な居住環境整備を図る。 | 市 | 52,530 | 6,050 | 事務費 989千円 (繰越明許費) 51,540千円 | | 建設部 |

H26実施計画事業 先導的事業抜出一覧

単位:千円

| 整理No. | まちづくりの目標 | 後期基本計画 施策項目 | 事業名称 | 事業の概要 | 事業 主体 | 平成26年度 予算額 | 平成26年度 決算額 | 実績 | 事業実施による問題・課題及び対応 | 部の名称 |
|-------|----------------------------|----------------|-------------------------|---|----------|---------------|---------------|---|--|----------|
| 30 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 1. 地域コミュニティ | 市民協働推進事業 | 地域課題解決や地域づくり、組織づくりを行う団体等を支援する。 | 市・団体等 | 129,209 | 90,529 | 1. 地域協働体支援事業 地域住民が主体となる地域協働体の設立準備や設立後の事業実施に必要な経費の一部を補助する等の支援を行った。 (1)地域協働体支援事業補助金 24団体 1,599千円 (2)地域協働推進員報酬 4人 4,701千円 2. 自治会等活動費総合補助金事業 地域活動の拠点となる集会所の整備や住民が主体的に行う地域づくりを目的とした事業に対し、事業実施に必要な経費の一部を補助した。 (1)一般活動 440事業 50,900千円 (2)施設整備 58事業 17,686千円 (改築1件、増築・改修57件) | | まちづくり推進部 |
| 31 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 2. 地域福祉 | 障害者福祉乗車券交付事業 | 障がい者などの交通弱者に対し、バス・タクシーの共通乗車券を交付する。 | 市 | 9,700 | 8,783 | 重度障がい者の社会参加の促進を図るため、市が委託するバス・タクシー等運行事業所で利用できる福祉乗車券を交付した。 (一人あたり1か月1,000円、12,000円が上限) 《対象者》 身体障害者手帳1・2級、療育手帳A、重度の精神障がい者(精神障害者保健福祉手帳1級又は精神を事由とした障害年金1級受給者) 《交付者数》 950人 《乗車券利用額》 8,626千円 | ・重度の障がいを持つ方の生活の利便性を図り、社会活動の参加を促進するために必要な事業である。 ・課題として、中等度の障がい者まで対象者の拡大を要望されていることから、その必要性について検討していく。 | 保健福祉部 |
| 32 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 2. 地域福祉 | 高齢者及び障害者にやさしい住まいづくり推進事業 | 要介護等の高齢者が、在宅で生活するために必要な住宅の改修経費に対し補助する。 | 対象者 | 12,000 | 5,249 | 申請件数18件 補助決定件数18件 | 県より補助金が内示され、その範囲の中での事業実施のため、通年実施には至らない。 | 保健福祉部 |
| 33 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 3. 子育て | 乳幼児・小学生医療費助成事業 | 次世代育成支援の充実を図るため、乳幼児・小学生の医療費の自己負担分を補助する。 | 市 | 174,827 | 154,144 | (1) 乳幼児〔就学前児童:市単独で所得制限を撤廃〕 月平均対象者数 5,204人(うち市単分865人) 月平均件数 6,418件(うち市単分1,104件) 助成額 145,694千円(うち市単分55,254千円) 《対象者》 身体障害者手帳1・2級、療育手帳A、重度の精神障がい者(精神障害者保健福祉手帳1級又は精神を事由とした障害年金1級受給者) 《交付者数》 950人 《乗車券利用額》 8,626千円 (2) 小学生〔小学校に就学中の児童:市単独事業、所得制限なし〕 月平均対象者数 5,361人 月平均件数 3,980件 助成額 98,890千円 | | 市民環境部 |
| 34 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 3. 子育て | 第3子以降保育料無料化事業(保育園) | 第3子以降の保育料を無料(所得制限なし)とする。 | 市 | 21,575 | 21,574 | 【H26年度軽減額実績】 645人 100,837,120円 (内訳) 認可保育園 496人 69,364,000円 こども園 44人 7,419,000円 へき地・児童館 21人 2,263,000円 こども園(幼稚園) 3人 217,000円 認可外保育所 81人 21,574,120円 (H23年度軽減額実績) 535人 87,832,466円 (内訳) 認可保育園 464人 76,923,250円 へき地・児童館 27人 3,055,500円 認可外保育所 44人 7,853,716円 (H24年度軽減額実績) 611人 102,183,764円 (内訳) 認可保育園 535人 88,431,650円 へき地・児童館 25人 2,889,000円 こども園(幼稚園) 3人 182,000円 認可外保育所 48人 10,681,114円 (H25年度軽減額実績) 679人 97,419,061円 (内訳) 認可保育園 580人 77,032,000円 へき地・児童館 23人 2,475,500円 こども園(幼稚園) 2人 154,000円 認可外保育所 74人 17,757,561円 | | 保健福祉部 |
| 35 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 3. 子育て | 第3子以降保育料無料化事業(幼稚園) | 第3子以降の保育料を無料(所得制限なし)とする。 | 市 | 35,837 | 32,346 | 【H25年度実績】 私立(補助金):130人 32,708千円 市立(減免):83人 7,166千円 国庫補助額 3,461千円 (H23年度実績) 私立(補助金):127人 29,127千円 市立(減免):68人 5,579千円 (H24年度実績) 私立(補助金):138人 33,819千円 市立(減免):79人 6,960千円 国庫補助額 3,461千円 | | 教育部 |

H26実施計画事業 先導的事業抜出一覧

単位:千円

| 整理No. | まちづくりの目標 | 後期基本計画 施策項目 | 事業名称 | 事業の概要 | 事業 主体 | 平成26年度 予算額 | 平成26年度 決算額 | 実績 | 事業実施による問題・課題及び対応 | 部の名称 |
|-------|----------------------------|-----------------|-----------------|--|----------|---------------|---------------|--|--|-------|
| 36 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 3. 子育て | おやこ広場事業 | 乳幼児とその親、子が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合い交流する場を提供する。 | 市 | 3,927 | 3,927 | 乳幼児を持つ親子が気軽に集い、子育てに関する情報交換や交流を通しての仲間づくりを促進し、安心して子育てができる環境づくりに努めた。 (委託先:特定非営利法人いちのせき子育てネット) 【H26年度実績】 (1) 開設日 毎週月～金 (2) 開設時間 午前10時～午後4時 (3) 開催回数 255回 (4) 利用延べ人数 12,041人 | | 保健福祉部 |
| 37 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 3. 子育て | 病後児保育事業 | 保育所に通所中の児童で、病気の回復期にある安静が必要な児童を、保護者の就労事情により一時的に保育し、子育てと就労を支援する。 | 市 | 1,280 | 1,100 | 【H26年度実績】 利用者数 のべ3人(実利用人数2人) 【H23年度実績】 利用者数 のべ18人(実利用人数7人) 【H24年度実績】 利用者数 のべ7人(実利用人数2人) 【H25年度実績】 利用者数 のべ11人(実利用人数4人) | | 保健福祉部 |
| 38 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 4. 防災(治水・治山を含む) | 土砂災害ハザードマップ作成事業 | 土砂災害警戒区域等の情報伝達や警戒避難体制の整備、住民への周知と併せハザードマップを作成する。 | 市 | 3,000 | 2,976 | 災害に強い安全安心のまちづくりを進めるため、土砂災害警戒・特別警戒指定区域の情報や警戒避難体制を住民へ周知するハザードマップを作成した。 1 土砂災害ハザードマップ作成事業費 (1) 土砂災害ハザードマップ作成業務委託料 32箇所 1,731千円 一関地区11箇所 東山地区12箇所 川崎地区9箇所 (2) 土砂災害ハザードマップ看板設置業務委託料 23箇所 597千円 一関地区6箇所 花泉地区3箇所 東山地区8箇所 川崎地区6箇所 (3) 土砂災害危険区域図データ入力更新業務委託料 1件 648千円 | 土砂災害ハザードマップは、地元住民、自主防災組織、所管の消防署及び消防団、消防本部防災課との共同作業で作成する事業で、今後も継続して行う。 対象住民の把握等非常時の具体的な行動の詳細が詰め切れていない状況にある。 県(砂防災害課)に対し、基礎調査が終了し地元説明会実施済みの箇所の土砂災害警戒等区域の指定について、早期に指定するよう働き掛けている。 | 建設部 |
| 39 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 4. 防災(治水・治山を含む) | 木造住宅耐震診断事業 | 住宅の所有者の求めに応じ、県が認定した岩手県耐震診断士を派遣し、耐震診断を行うことにより、耐震対策を支援する。 | 市・建築士会 | 2,295 | 724 | 【平成26年度実績】 耐震診断実施件数 26件 724千円 ※平成26年度までの実績 597件 | | 建設部 |
| 40 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 4. 防災(治水・治山を含む) | 木造住宅耐震改修工事助成事業 | 住宅の所有者が耐震改修工事を行う場合に、その経費の一部を補助する。 | 所有者 | 8,304 | 750 | 【平成26年度実績】 耐震改修助成件数 1件 750千円 ※平成26年度までの実績 90件 | | 建設部 |
| 41 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 4. 防災(治水・治山を含む) | 防災行政情報システム整備事業 | 防災行政無線(同報系)により災害時の情報及び行政情報を市内全域に一斉に伝達するシステムの整備を行う。 | 市 | 250,500 | 236,916 | 平成24年度から平成26年度までの継続事業として防災行政情報システム整備を行い、平成27年3月10日完成した。 (1) システム整備工事費 234,734千円 (2) 工事管理委託料 2,182千円 | | 消防本部 |
| 42 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 4. 防災(治水・治山を含む) | 移動系防災行政無線整備事業 | 防災行政無線(移動系)のデジタル化への対応及び情報伝達手段の強化を図るため無線の整備を行う。 | 市 | 475,273 | 141,857 | 多重無線ネットワークを活用した移動系防災行政無線整備を行った。 (1) システム整備工事費(前払金) 131,880千円 (2) 実施設計委託料 9,977千円 | 電波の伝搬調査の結果を受けて東北通信局との協議を行い、実施設計に時間を要したこと、及びシステム整備工事に必要な工期を確保するため、平成27年度に整備工事を繰り越した。 | 消防本部 |
| 43 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 4. 防災(治水・治山を含む) | 自主防災組織育成事業 | 新たに結成した自主防災組織へ報奨金の支給、避難所生活体験や講習会の開催等による自主防災組織の育成指導等を行う。 | 市 | 2,460 | 974 | 自主防災組織報奨金 2件 優良自主防災組織等表彰 7団体 自主防災組織リーダー研修会 3名 岩手県婦人消防等研修会 岩手県自主防災組織連絡会議 岩手県婦人消防等指導者研修会 避難所生活体験実施 48名 災害救護研修会実施 152名 指導者養成講座実施 72名 消防防災セミナー 142回 6,966名 自主防災組織活動助成金 2件 | ・避難所生活体験については、災害対策基本法の改正の趣旨から回数や開催地区など拡充する必要がある。 ・指導者養成については、受講者がさらに自信や指導力を身に着ける取組みが必要である。 ・他の事業については、今後も継続し、地域防災力の強化を図る。 | 消防本部 |
| 44 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 5. 消防・救急・救助 | 消防屯所建設事業(一関) | 消防資機材の保管、災害時の消防団の待機場所及び活動拠点となる消防屯所を整備する。 | 市 | 29,100 | 9,336 | 登記、測量、設計、地質調査、建築前金払 9,336千円 | 用地取得に時間を要したことから、平成27年度に建設工事等を繰り越した。 | 消防本部 |
| 45 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 5. 消防・救急・救助 | 消防屯所建設事業(花泉) | 消防資機材の保管、災害時の消防団の待機場所及び活動拠点となる消防屯所を整備する。 | 市 | 45,300 | 11,366 | 登記、設計、地質調査、用地購入 11,366千円 | 実施設計に関し、設計委託期間が延長となったことにより平成27年度に建設工事等を繰り越した(1棟)。また、建設位置の変更が必要になったことから、平成27年度に建設工事等を繰り越した(1棟)。 | 消防本部 |

H26実施計画事業 先導的事業抜出一覧

単位:千円

| 整理No. | まちづくりの目標 | 後期基本計画 施策項目 | 事業名称 | 事業の概要 | 事業 主体 | 平成26年度 予算額 | 平成26年度 決算額 | 実績 | 事業実施による問題・課題及び対応 | 部の名称 |
|-------|----------------------------|----------------|-----------------------|-------------------------|----------|---------------|---------------|---|--|------|
| 46 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 5. 消防・救急・救助 | 消防屯所建設事業(大東) | " | 市 | 47,713 | 40,782 | 2棟 40,782千円 | | 消防本部 |
| 47 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 5. 消防・救急・救助 | 消防屯所建設事業(千厩) | " | 市 | 26,009 | 2,520 | 測量、登記、地質調査、用地購入 2,520千円 | 用地取得に時間を要したことから、平成27年度に建設工事等を繰り越した。 | 消防本部 |
| 48 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 5. 消防・救急・救助 | 消防屯所建設事業(東山) | " | 市 | 20,571 | 7,400 | 建築前金払 7,400千円 | 屯所建設に新たに造成工事が必要となったことから、年度内完了が困難となり、平成27年度に建設工事等を繰り越した。 | 消防本部 |
| 49 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 5. 消防・救急・救助 | 消防屯所建設事業(室根) | " | 市 | 1,795 | 473 | 設計、地質調査 473千円 | | 消防本部 |
| 50 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 5. 消防・救急・救助 | 消防屯所建設事業(川崎) | " | 市 | 26,441 | 1,992 | 登記、地耐力調査、設計、用地購入 1,992千円 | 建設場所の選定に時間を要したため、平成27年度に設計委託等を繰り越した(1棟)。また、実施設計の修正等に時間を要したため、平成27年度に建設工事等を繰り越した(1棟)。 | 消防本部 |
| 51 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 5. 消防・救急・救助 | 北消防署東山分署・南消防署藤沢分署建設事業 | 東山分署及び藤沢分署の移転改築工事を実施する。 | 市 | 228,500 | 192,415 | ・北消防署東山分署建設事業(181,305,303円) ・南消防署藤沢分署建設事業(11,110,167円) 実施・解体設計委託、測量、敷地調査等 | | 消防本部 |
| 52 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 5. 消防・救急・救助 | 防火水槽整備事業(一関) | 消防水利の充実のため防火水槽を整備する。 | 市 | 19,808 | 17,388 | 一関地域 2基 17,388千円 | | 消防本部 |
| 53 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 5. 消防・救急・救助 | 防火水槽整備事業(花泉) | " | 市 | 6,192 | 6,192 | 花泉地域 1基 6,192千円 | | 消防本部 |
| 54 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 5. 消防・救急・救助 | 防火水槽整備事業(大東) | " | 市 | 5,616 | 5,616 | 大東地域 1基 5,616千円 | | 消防本部 |
| 55 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 5. 消防・救急・救助 | 防火水槽整備事業(千厩) | " | 市 | 5,485 | 2,193 | 千厩地域(前払金) 1基 2,193千円 | 石堂コミュニティ公園整備工事に合わせて設置工事を行ったが、公園整備工事の設計見直しに時間を要したことから、平成27年度に設置工事等を繰り越した。 | 消防本部 |
| 56 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 5. 消防・救急・救助 | 防火水槽整備事業(室根) | " | 市 | 5,666 | 5,666 | 室根地域 1基 5,666千円 | | 消防本部 |
| 57 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 5. 消防・救急・救助 | 消火栓整備事業(一関) | 消防水利の充実のため消火栓を整備する。 | 市 | 9,052 | 9,052 | 一関地域 14基 9,052千円 | | 消防本部 |
| 58 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 5. 消防・救急・救助 | 消火栓整備事業(大東) | " | 市 | 1,152 | 1,152 | 大東地域 2基 1,152千円 | | 消防本部 |
| 59 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 5. 消防・救急・救助 | 消火栓整備事業(千厩) | 消防水利の充実のため消火栓を整備する。 | 市 | 330 | 330 | 千厩地域 1基 330千円 | | 消防本部 |

| 整理No. | まちづくりの目標 | 後期基本計画 施策項目 | 事業名称 | 事業の概要 | 事業 主体 | 平成26年度 予算額 | 平成26年度 決算額 | 実績 | 事業実施による問題・課題及び対応 | 部の名称 |
|-------|----------------------------|-----------------|------------------|--|----------|---------------|---------------|--|---|------|
| 60 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 5. 消防・救急・救助 | 婦人消防協力隊活動支援事業 | 災害時の後方支援活動、火災予防活動、応急手当普及活動等を行う婦人消防協力隊のウインドブレーカー・ズボンの更新を行う。 | 市 | 14,000 | 7,756 | ハーフコート1,500着 防寒ズボン1,500着 | 今後は、隊員の交代による被服の貸与については、婦人消防協力隊ごとに対応することとしたが、経年劣化時は、新たに整備する必要がある。 | 消防本部 |
| 61 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 5. 消防・救急・救助 | 命をつなぐプロジェクト事業 | 中学生を対象に心肺蘇生法の実技学習を実施する。 | 市 | 1,537 | 1,277 | 心配蘇生法音声誘導機 1,130個 中学1年生全員に配布 市内小中学校の児童生徒、教職員、PTAなどを対象とした講習会の実施 | | 教育部 |
| 62 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 6. 防犯・交通安全・市民相談 | 交通安全施設整備事業(一閑地域) | 交通安全施設(防護柵、カーブミラー等)を整備する。 | 市 | 26,000 | 26,111 | 歩行者および車両通行の安全を確保するため、各種交通安全施設の整備を行った。 1. 交通安全施設整備事業 (1) 防護柵設置 407 m 12,365千円 (2) 反射鏡・標識等設置 25 基 5,446千円 (3) 区画線設置 45 路線 6,139千円 (4) 視線誘導標等設置 66 本 2,161千円 (5) その他交通安全施設 0 か所 0千円 | 各地区の要望やPTAの要望及び道路/バトール等により、交通安全施設の整備が必要な箇所について整備を行っているが、要望に対して事業予算が足りない状況である。 歩行者及び車両通行の安全を確保するため、各種交通安全施設の整備を今後も継続して行う。 | 建設部 |
| 63 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 6. 防犯・交通安全・市民相談 | 交通安全施設整備事業(花泉地域) | 〃 | 市 | 1,000 | 918 | 歩行者および車両通行の安全を確保するため、各種交通安全施設の整備を行った。 1. 交通安全施設整備事業 (1) 防護柵設置 34 m 524千円 (2) 反射鏡・標識等設置 1 基 329千円 (3) 区画線設置 0 路線 0千円 (4) 視線誘導標等設置 0 本 0千円 (5) その他交通安全施設 0 か所 0千円 (6) 交通安全看板購入 10基 65千円 | 各地区の要望やPTAの要望及び道路/バトール等により、交通安全施設の整備が必要な箇所について整備を行っているが、要望に対して事業予算が足りない状況である。 歩行者及び車両通行の安全を確保するため、各種交通安全施設の整備を今後も継続して行う。 | 建設部 |
| 64 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 6. 防犯・交通安全・市民相談 | 交通安全施設整備事業(大東地域) | 〃 | 市 | 2,000 | 1,998 | 歩行者および車両通行の安全を確保するため、各種交通安全施設の整備を行った。 1. 交通安全施設整備事業 (1) 防護柵設置 73 m 635千円 (2) 反射鏡・標識等設置 4 基 727千円 (3) 区画線設置 3 路線 500千円 (4) 視線誘導標等設置 16 本 136千円 (5) その他交通安全施設 0 か所 0千円 | 各地区の要望やPTAの要望及び道路/バトール等により、交通安全施設の整備が必要な箇所について整備を行っているが、要望に対して事業予算が足りない状況である。 歩行者及び車両通行の安全を確保するため、各種交通安全施設の整備を今後も継続して行う。 | 建設部 |
| 65 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 6. 防犯・交通安全・市民相談 | 交通安全施設整備事業(千厩地域) | 〃 | 市 | 2,200 | 1,942 | 歩行者および車両通行の安全を確保するため、各種交通安全施設の整備を行った。 1. 交通安全施設整備事業 (1) 防護柵設置 0 m 0千円 (2) 反射鏡・標識等設置 2 基 611千円 (3) 区画線設置 4 路線 1,331千円 (4) 視線誘導標等設置 0 本 0千円 (5) その他交通安全施設 0 か所 0千円 | 各地区の要望やPTAの要望及び道路/バトール等により、交通安全施設の整備が必要な箇所について整備を行っているが、要望に対して事業予算が足りない状況である。 歩行者及び車両通行の安全を確保するため、各種交通安全施設の整備を今後も継続して行う。 | 建設部 |
| 66 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 6. 防犯・交通安全・市民相談 | 交通安全施設整備事業(東山地域) | 交通安全施設(防護柵、カーブミラー等)を整備する。 | 市 | 1,500 | 1,499 | 歩行者および車両通行の安全を確保するため、各種交通安全施設の整備を行った。 1. 交通安全施設整備事業 (1) 防護柵設置 33 m 352千円 (2) 反射鏡・標識等設置 4 基 739千円 (3) 区画線設置 3 路線 408千円 (4) 視線誘導標等設置 0 本 0千円 (5) その他交通安全施設 0 か所 0千円 | 各地区の要望やPTAの要望及び道路/バトール等により、交通安全施設の整備が必要な箇所について整備を行っているが、要望に対して事業予算が足りない状況である。 歩行者及び車両通行の安全を確保するため、各種交通安全施設の整備を今後も継続して行う。 | 建設部 |
| 67 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 6. 防犯・交通安全・市民相談 | 交通安全施設整備事業(室根地域) | 〃 | 市 | 1,300 | 1,300 | 歩行者および車両通行の安全を確保するため、各種交通安全施設の整備を行った。 1. 交通安全施設整備事業 (1) 防護柵設置 0 m 0千円 (2) 反射鏡・標識等設置 4 基 798千円 (3) 区画線設置 0 路線 0千円 (4) 視線誘導標等設置 37 本 364千円 (5) その他交通安全施設 1 か所 138千円 | 各地区の要望やPTAの要望及び道路/バトール等により、交通安全施設の整備が必要な箇所について整備を行っているが、要望に対して事業予算が足りない状況である。 歩行者及び車両通行の安全を確保するため、各種交通安全施設の整備を今後も継続して行う。 | 建設部 |
| 68 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 6. 防犯・交通安全・市民相談 | 交通安全施設整備事業(川崎地域) | 〃 | 市 | 1,300 | 1,559 | 歩行者および車両通行の安全を確保するため、各種交通安全施設の整備を行った。 1. 交通安全施設整備事業 (1) 防護柵設置 40 m 763千円 (2) 反射鏡・標識等設置 0 基 0千円 (3) 区画線設置 2 路線 429千円 (4) 視線誘導標等設置 10 本 255千円 (5) その他交通安全施設 2 か所 112千円 | 各地区の要望やPTAの要望及び道路/バトール等により、交通安全施設の整備が必要な箇所について整備を行っているが、要望に対して事業予算が足りない状況である。 歩行者及び車両通行の安全を確保するため、各種交通安全施設の整備を今後も継続して行う。 | 建設部 |
| 69 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 6. 防犯・交通安全・市民相談 | 交通安全施設整備事業(藤沢地域) | 〃 | 市 | 1,600 | 1,574 | 歩行者および車両通行の安全を確保するため、各種交通安全施設の整備を行った。 1. 交通安全施設整備事業 (1) 防護柵設置 37 m 392千円 (2) 反射鏡・標識等設置 3 基 729千円 (3) 区画線設置 0 路線 0千円 (4) 視線誘導標等設置 11 本 95千円 (5) その他交通安全施設 2 か所 358千円 | 各地区の要望やPTAの要望及び道路/バトール等により、交通安全施設の整備が必要な箇所について整備を行っているが、要望に対して事業予算が足りない状況である。 歩行者及び車両通行の安全を確保するため、各種交通安全施設の整備を今後も継続して行う。 | 建設部 |

| 整理No. | まちづくりの目標 | 後期基本計画 施策項目 | 事業名称 | 事業の概要 | 事業主体 | 平成26年度 予算額 | 平成26年度 決算額 | 実績 | 事業実施による問題・課題及び対応 | 部の名称 |
|-------|----------------------------|-----------------|---------------------------|---|------|---------------|---------------|--|---|-------|
| 70 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 6. 防犯・交通安全・市民相談 | 消費生活相談窓口の設置及び消費生活相談員の配置事業 | 消費者からの相談に対応するため、消費生活相談員を配置する。 | 市 | 9,248 | 9,236 | 消費生活センターを設置し、相談員による消費生活に関する相談、苦情等の対応業務を行い、消費者被害の未然防止及び拡大防止に努め、消費者の安全確保を図った。 消費生活相談員 4人、相談件数 468件、消費生活出前講座 49回 | 寄せられる相談件数は、年々増加傾向にあり、また、その内容も多様化・複雑化している(高齢者やインターネットに関するトラブル等)。今後も、社会の変化に伴った様々な消費者トラブルに対処するため相談体制を充実させる必要がある。 | 市民環境部 |
| 71 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 7. 医療 | 医師修学資金貸付事業 | 地域における医師確保を目的として、将来市内の市長が指定する医療機関に勤務しようとする者に対し修学資金貸付を行う。 | 市 | 22,296 | 7,200 | 【H26年度実績】 修学生 2人(平成24年度 1人、平成25年度 1人) | | 保健福祉部 |
| 72 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 7. 医療 | 臨床研修医研究支援事業費補助金 | 臨床研修医受け入れ促進に向け、研修医の知識の醸成及び地域医療の担い手の育成及び研修環境を整備する。 | 研修医 | 1,600 | 1,590 | 【H26年度実績】 一関市医師会が実施した臨床研修医の研修備品の整備に対して補助金を交付した。 | | 保健福祉部 |
| 73 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 7. 医療 | 地域医療・介護連携推進事業 | 介護職員の医療に関する正しい知識の習得や医療と介護の密接な連携による「在宅ケア」の向上を図る。 | 市 | 5,000 | 4,459 | 【H26年度実績】 地域の医療資源を有効活用した医療連携体制の構築を推進するため、医療機関相互の機能分担と連携、医療と介護の連携体制づくり等を促進するとともに、医療依存度の高い要介護高齢者等の増加に対応した介護関係職員の医療的ケアに関する研修などの実施により医療と介護の連携を推進した。 1.医療介護連携専門員の設置 1人 2.一関市医療と介護の連携連絡会及び幹事会の開催 6回 3.研修会の開催 5回 4.コミュニティFM番組による啓発 36回(再放送含む) 5.医療と介護の連携マニュアルの作成及び運用 6.先進地視察の実施 | | 保健福祉部 |
| 74 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 9. 健康づくり | 一関保健センター移転整備事業 | 旧県立磐井病院跡地に保健センター機能のほか、子育て支援センター及び療育センターの福祉機能を備えた複合的施設を整備する。 | 市 | 1,579,550 | 1,183,462 | 【H26年度実績】 新一関保健センターの建設等工事を行った。(平成25・26年度継続事業) (現年度分) 1.委託料 5,300千円 (1)建設工事監理業務委託 4,295千円 (2)旧庁舎解体工事実施設計業務委託 1,005千円 2.建設等工事費 527,706千円 (1)建設(建築)工事 105,286千円 (2)建設(機械設備)工事 155,701千円 (3)建設(電気設備)工事 135,940千円 (4)外構工事 106,426千円 (5)旧庁舎解体工事 11,871千円 (6)ネットワーク移設工事 3,752千円 (7)電話交換設備工事 2,970千円 (8)その他工事 5件 5,760千円 3.備品購入費 43,603千円 (1)診療機器等備品購入 43,603千円 4.その他 7,672千円 施設管理用等消耗品 7,191千円 施設案内パンフレット印刷費 299千円 完了検査等申請手数料 182千円 (通次繰越分) 1.委託料 943千円 (1)建設工事監理業務委託 943千円 2.建設等工事費 598,237千円 (1)建設(建築)工事 558,992千円 (2)建設(機械設備)工事 21,009千円 (3)建設(電気設備)工事 18,236千円 | (平成27年度繰越明許分) 旧庁舎解体工事 24,819千円 | 保健福祉部 |
| 75 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 9. 健康づくり | 自殺予防対策事業 | 自殺者数を減らすため、講演会の開催や相談専門員の配置など課題の共有と積極的な自殺予防対策を行う。 | 市 | 3,464 | 2,859 | 【H26年度実績】 自殺予防に関する正しい知識の普及啓発やゲートキーパー研修会等を開催した。 1.町内関係課連絡会 1回 2.普及啓発:市広報掲載、イベント時のポケットティッシュ及びフリーフレット等の配布、相談場所のステッカーを公共機関等に配布 3.市ホームページにメンタルチェックシステム『こころの体温計』を運営 アクセス数51,079件 4.保健師による健康教育 22回 283人 5.傾聴ボランティア養成講座の開催 2回コース 実93人 6.ゲートキーパー研修会 7回 237人 (対象:区長、民生委員、保健推進委員、高校生等) 7.臨床心理士によるこころの相談 57回 82人 8.高齢者のうつスクリーニング 292人 9.産後うつスクリーニング 702人 | | 保健福祉部 |
| 76 | 3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり | 1. 生涯学習 | 新一関図書館整備事業 | 一関図書館を移転改築し、中央図書館機能を有する図書館を整備する。 | 市 | 87,115 | 77,023 | 新一関図書館開館 平成26年7月24日 一関図書館の移転引越し作業と開館準備及び記念式典、記念行事等を行った。 旧一関図書館の解体工事を行った。 | | 教育部 |

H26実施計画事業 先導的事業抜出一覧

単位:千円

| 整理No. | まちづくりの目標 | 後期基本計画 施策項目 | 事業名称 | 事業の概要 | 事業主体 | 平成26年度 予算額 | 平成26年度 決算額 | 実績 | 事業実施による問題・課題及び対応 | 部の名称 |
|-------|----------------------------|-----------------------|----------------|---|------|---------------|---------------|--|---|------|
| 77 | 3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり | 2. 義務教育・高等学校教育・高等教育機関 | 教育立市プラン事業 | 教育立市を目指し、教育相談員、特別支援コーディネーター、学校サポーター、学習指導専門員、学びの支援員、適応支援相談員、読書普及員の配置や中学生の社会体験学習事業等を実施する。 | 市 | 165,132 | 157,820 | <p>【H26年度実績】</p> <p>学習指導専門員4人、教育相談員4人、読書普及員19人、学びの支援員4人、特別支援コーディネーター2人、学校サポーター33人、適応支援相談員4人、幼稚園きめ細かな指導支援員11人の配置ほか</p> <p>(H23年度実績)</p> <p>学習指導専門員4人、教育相談員4人、読書普及員12人、学びの支援員4人、特別支援コーディネーター3人、学校サポーター24人、適応支援相談員4人、幼稚園きめ細かな指導支援員7人の配置ほか</p> <p>(H24年度実績)</p> <p>学習指導専門員4人、教育相談員4人、読書普及員15人、学びの支援員4人、特別支援コーディネーター3人、学校サポーター29人、適応支援相談員4人、幼稚園きめ細かな指導支援員8人の配置ほか</p> <p>(H25年度実績)</p> <p>学習指導専門員4人、教育相談員4人、読書普及員19人、学びの支援員4人、特別支援コーディネーター2人、学校サポーター33人、適応支援相談員4人、幼稚園きめ細かな指導支援員11人の配置ほか</p> | ・学校サポーター、幼稚園きめ細かな指導支援員について、学校、幼稚園から支援を必要とする児童生徒、園児対応のため増員を要望されている。 ・特別支援コーディネーターなど職種によっては専門的な業務内容となることから、公募等での適任者の確保が困難となってきている。 | 教育部 |
| 78 | 3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり | 2. 義務教育・高等学校教育・高等教育機関 | 中学生最先端科学体験研修事業 | 中学生を対象とし、科学技術に関する国の機関等が集積する筑波学園都市での体験的な研修を実施する。 | 市 | 2,287 | 2,212 | <p>【H26年度実績】</p> <p>1. 研修対象者 市内中学3年生 60人 2. 研修期間 平成26年8月7日(木)～8月9日(土) 3. 研修場所 つくばエキスポセンター 独立行政法人宇宙航空研究開発機構 筑波宇宙センターJAXA 高エネルギー加速器研究機構 国土地理院 地図と測量の科学館</p> | 市内中学3年生 60人 | 教育部 |
| 79 | 3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり | 2. 義務教育・高等学校教育・高等教育機関 | 地域学習冊子作成事業 | 各地域の学校・学区の歴史・記念物・自慢となる情報を、学校・児童生徒・地域住民が発掘し、編集して冊子を作成する。 | 市 | 2,108 | 1,901 | <p>第5集「地域の産業」 冊子1,100部、ポスター250枚を発行し、学校、公民館等へ配布。</p> <p>(H22～25年度実績)</p> <p>第1集「学校のお宝紹介」 第2集「地域探検隊～発見！ 私たちのすばらしい地域～」 第3集「わたしたちが受けつぐ地域の行事・伝統芸能」 第4集「学校と地域の昔と今」</p> | 平成27年度で事業完了。 「ことばの力を育てる教育」を推進するため、ことばのテキストを作成する必要がある。 | 教育部 |
| 80 | 3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり | 2. 義務教育・高等学校教育・高等教育機関 | 磐井中学校整備事業 | 山目中学校、中里中学校の統合に向け、現在の山目中学校の改築工事を実施する。 | 市 | 1,161,861 | 1,080,372 | <p>1. 委託料 32,844千円 (1) 校舎建設工事監理委託 21,315千円 (2) 進入路立木伐採委託 6,812千円 (3) 体育用具庫他実施設計委託 1,004千円 (4) 駐輪場建設工事実施設計委託 432千円 (5) イントラネット設定委託 2,693千円 (6) その他委託料 4件 588千円</p> <p>2. 工事費 1,005,328千円 (1) 校舎建設(建築)工事 624,246千円 (2) 校舎建設(機械設備)工事 193,476千円 (3) 校舎建設(電気設備)工事 107,678千円 (4) 進入路新設工事 67,591千円 (5) 仮設渡り廊下解体等工事 3,026千円 (6) 擁壁設置工事 3,960千円 (7) イントラネット拠点移設工事 788千円 (8) その他工事 11件 4,563千円</p> <p>3. その他 42,200千円 (1) 仮設校舎等使用料 15,768千円 (2) 建築確認申請等手数料 443千円 (3) 進入路用地購入費 3件 6,015千円 (4) 進入路物件移転補償費 2件 941千円 (5) 備品購入費、その他事務費等 19,033千円</p> <p>新校舎は26年度で完成し、27年4月に統合・磐井中学校が開校した。</p> | | 教育部 |
| 81 | 3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり | 2. 義務教育・高等学校教育・高等教育機関 | 金沢小学校大規模改修事業 | 校舎の大規模改修工事を実施する。 | 市 | 150,000 | 139,136 | <p>【H26年度実績】</p> <p>1. 委託料 工事監理委託料 4,320千円 2. 改修工事費 改修工事 134,816千円</p> | | 教育部 |

| 整理No. | まちづくりの目標 | 後期基本計画 施策項目 | 事業名称 | 事業の概要 | 事業 主体 | 平成26年度 予算額 | 平成26年度 決算額 | 実績 | 事業実施による問題・課題及び対応 | 部の名称 |
|-------|--------------------------------|-------------------------------|-----------------------|---|----------|---------------|---------------|---|---|--------------|
| 82 | 3. 人を育み文化を創造する 生きがいのあるまちづくり | 2. 義務教育・ 高等学校教育・ 高等教育機関 | 東山中学校校舎耐震改修・大規模改造事業 | 校舎の耐震補強工事等を実施する。 | 市 | 278,010 | 138,780 | 【H26年度実績】 1. 委託料 1,077千円 備品移転等委託料 1,077千円 2. 使用料及び賃借料 24,917千円 東山中学校仮設校舎賃賃料 24,917千円 3. 工事費 108,109千円 (1)大規模改造等(建築)工事(前金払) 55,965千円 (2)大規模改造等(電気設備)工事(前金払) 11,988千円 (3)大規模改造等(機械設備)工事(前金払) 16,176千円 (4)その他 13件 23,980千円 4. 備品購入費 4,677千円 学校用備品(机・椅子ほか) 4,677千円 | 工事費については、H26～H27の継続費であるため、H26年度実績分は前金払い分である。残分は、H27年度に支出予定である。 | 教育部 |
| 83 | 3. 人を育み文化を創造する 生きがいのあるまちづくり | 2. 義務教育・ 高等学校教育・ 高等教育機関 | (仮称)西部第二学校給食センター整備事業 | 西部学校給食センター北側に1,000食規模の西部第2給食センターを整備する。 | 市 | 80,762 | 16,871 | 【H26実績】 1. 工事費 16,635千円 (1)建設(建築)工事 8,700千円 (2)建設(機械設備)工事 5,000千円 (3)建設(電気設備)工事 2,935千円 2. その他 236千円 建築確認申請等手数料 建設工事に着手した。継続費事業につき、平成27年度内に完成予定。稼働は平成28年4月。 | | 教育部 |
| 84 | 3. 人を育み文化を創造する 生きがいのあるまちづくり | 2. 義務教育・ 高等学校教育・ 高等教育機関 | 西部学校給食センター改修事業 | 施設の衛生環境を改善するため、内壁張替工事等を実施する。 | 市 | 82,500 | 71,682 | 【H26実績】 1. 委託料 1,706千円 改修工事監理業務委託 2. 工事費 69,975千円 (1)改修(建築)工事 50,220千円 (2)改修(機械設備)工事 17,064千円 (3)改修(電気設備)工事 2,257千円 (4)自動石けん取付等工事 434千円 改修工事が完成し、調理衛生環境の改善が図られた。 | | 教育部 |
| 85 | 3. 人を育み文化を創造する 生きがいのあるまちづくり | 2. 義務教育・ 高等学校教育・ 高等教育機関 | 花泉学校給食センター施設等改修事業 | 施設の衛生環境を改善するため、空調設備の改修工事等を実施する。 | 市 | 37,400 | 32,324 | 空調設備改修・還流ボイラー更新・蒸気配管改修 電気設備工事費 7,452,000円 機械設備工事費 24,872,400円 計 32,324,400円 | | 教育部 |
| 86 | 3. 人を育み文化を創造する 生きがいのあるまちづくり | 3. 青少年の健全育成 | JFAこころのプロジェクト「夢の教室」事業 | 児童の健全育成を図るため、スポーツ選手を小学校に夢先生として招聘し、夢を持つことの大切さ等を伝える授業を行う。 | 市 | 1,260 | 1,009 | 永井小、金沢小、涌津小、清田小、老松小、日形小、新沼小、南小の8小学校で9教室の実施 講師は元サッカー日本代表の福西崇史氏など | | まちづくり 推進部 |
| 87 | 3. 人を育み文化を創造する 生きがいのあるまちづくり | 4. 文化・芸術・ スポーツ・レクリエーション | 長沼守敬顕彰展示事業 | 長沼守敬を顕彰する展示会を開催する。 | 市 | 1,800 | 1,422 | 岩手県立美術館所蔵の長沼守敬彫刻作品「ダイバース像」を返却し、「老夫」(ブロンズ)を借用し展示をおこなった。 また、長沼守敬関係写真の亚克力パネルを複製し展示をおこなった。 | 長沼守敬顕彰のために作品展示が最適であるが、現存作品は少なく、そのほとんどが野外展示されていたり公的機関で収蔵されていたりするため、作品そのものの入手は見込めない。そのため、作品及び資料の貸し出しに協力していただける美術館から継続して借用する必要がある。 | 教育部 |
| 88 | 3. 人を育み文化を創造する 生きがいのあるまちづくり | 4. 文化・芸術・ スポーツ・レクリエーション | スポーツ合宿招聘事業 | 高等教育機関のスポーツ部の合宿を招聘するため、交通費や地元学校との交流に必要な経費に対し補助する。 | 市 | 775 | 775 | 流通経済大学付属柏高駅伝部(38人、室根中との合同練習)と松戸高校女子バスケットボール部(25人、大原中バスケットボール部と合同練習)が合宿を実施 | 本来の目的である大学等の強豪チームの誘致に至っていない | まちづくり 推進部 |
| 89 | 3. 人を育み文化を創造する 生きがいのあるまちづくり | 4. 文化・芸術・ スポーツ・レクリエーション | 国体選手強化事業 | 岩手国体に向けて、体育協会が実施する選手強化事業や指導者育成事業に必要な経費に対し補助する。 | 市 | 1,305 | 1,305 | 選手強化はクレー射撃、フェンシング、バスケットボールなどの7競技、指導者育成はバレーボール、剣道、テニスなどの6競技で実施 | | まちづくり 推進部 |
| 90 | 3. 人を育み文化を創造する 生きがいのあるまちづくり | 6. 文化財の保護・ 地域文化の伝承 | 市内埋蔵文化財保存管理事務事業 | 市内埋蔵文化財の発掘調査を実施する。 | 市 | 3,800 | 3,798 | 【H26年度実績】(1)周知の埋蔵文化財包蔵地における試掘調査(7件)(2)周知の埋蔵文化財包蔵地における工事立会(6件)(3)周知の埋蔵文化財包蔵地に対する照会回答(500件) (4)埋蔵文化財発掘届出・通知(17件) | 当市の埋蔵文化財専門職(学芸員)は1人。世界遺産拡張登録に係る史跡調査と市内開発等に係る埋蔵文化財業務に従事している。史跡調査と埋文業務が重複しているため、1人では広範な市域の開発事業に対応しきれない。 | 教育部 |

| 整理No. | まちづくりの目標 | 後期基本計画 施策項目 | 事業名称 | 事業の概要 | 事業 主体 | 平成26年度 予算額 | 平成26年度 決算額 | 実績 | 事業実施による問題・課題及び対応 | 部の名称 |
|-------|-----------------------------|-------------------------|-------------------------|---|-----------|---------------|---------------|---|---|--------------|
| 91 | 3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり | 6. 文化財の保護・地域文化の伝承 | 古文書等資料調査事業 | 市内に所蔵されている古文書等の資料を整理し、目録のデータベース化を実施する。 | 市 | 5,878 | 5,857 | 1. 古文書既調査資料の目録化、未整理資料の整理を行った。 (1) 仙台藩東山南方大肝入白石家文書、伊藤家文書、渡辺家文書(一関市千厩町)、鳥畑家文書(一関市大東町) (2) 塩屋佐藤家文書(一関市大町) 2. 美術関係資料の整理調査とカード化、関連情報の収集・集積を行った。 (1) 佐藤紫煙関係資料の整理、調査及びデータ入力 (2) 福井良之助作品の整理、調査及び写真撮影 (3) 一関ゆかりの美術・工芸家についての調査 長沼守敬、白石隆一、佐藤藤吉等の文献調査と情報集積 | 市域の拡大により対象物が増加した一方で、過疎化等により資料の滅失の危機が増大し、震災によって保存環境の悪化等があり早期の着手が必要である。 古文書整理の知識と技能を持った人材が確保が困難で、専門的な教育を受けた者の起用や、経験を蓄積できる体制づくりが課題である。美術作品においても、専門的な知識と技能、経験が必要であり、人材確保と育成が課題。 | 教育部 |
| 92 | 3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり | 6. 文化財の保護・地域文化の伝承 | 郷土芸能活動事業補助金 | 郷土芸能団体等の活動や、発表会等に必要経費に対して補助する。 | 団体 | 1,500 | 130 | 【H26年度実績】1団体に130千円支出。 (内訳) 岩手県南宮城県北神楽大会(厳美大会) 130千円 【参考】 H23実績 5団体に1,081千円支出。 H24実績 6団体に634千円支出。 H25実績 7団体に859千円支出。 H25年度で、特定継続事業(H23要綱制定前に支出した補助金額を交付する)が終了。 | 【問題・課題】 ・高齢化、後継者不足により、郷土芸能活動を行うことが困難となっている団体がある。 ・団体は、本補助金よりも助成率の高い財団等が実施する類似助成制度を希望する例が多く、本事業を活用する例が少ない。 【対応状況】 ・文化財課では、団体の活動状況把握調査を行い、重要なものについては保存、保護のため文化財指定を進め、活動の支援を行っている。 ・団体の意向を確認しながら、財団等が実施する類似助成制度も案内する。 | まちづくり 推進部 |
| 93 | 3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり | 7. 平泉文化関連資産「骨寺村荘園遺跡」の保護 | 骨寺村荘園遺跡世界遺産登録推進事業 | 骨寺村荘園遺跡の早期の拡張登録実現を目指し、関係機関・団体と拡張登録推薦事務を進める。 | 市 | 2,042 | 1,907 | 骨寺村荘園遺跡の世界遺産拡張登録に向けて関係業務を行った。 1. 世界遺産拡張登録検討委員会開催 2. 「平泉の文化遺産」拡張登録に係る研究会開催(参加者 77人) 3. 国内類似資産調査(鎌倉) 4. 骨寺村荘園遺跡講演会開催(聴講者 45人) | 有識者委員会等から、拡張推薦のための調査研究不足が指摘されており、岩手県及び関係市町では、平成25年度から29年度までの5か年間で平泉に関する基礎的な調査研究と、個別資産(骨寺村荘園遺跡ほか)の調査研究を集中的に実施し、拡張推薦のための資産価値を明らかにすることとしている。 | 教育部 |
| 94 | 4. 人と情報が活発に行き交ふれあいと連携のまちづくり | 1. 都市間交流・国際交流 | 国際交流推進事業 | 市民による国際交流活動を支援するため、国際交流団体に対し補助する。 | 市・ 団体等 | 1,413 | 791 | 市民の国際理解と多文化共生の促進を図るため、各地域の国際交流団体の活動に対して補助を行った。 国際交流補助金 一関国際交流協会 16千円 ゆうの会 80千円 東山国際交流協会 43千円 むろね国際交流クラブ 173千円 川崎21世紀国際交流クラブ 180千円 藤沢町国際交流協会 300千円 | | まちづくり 推進部 |
| 95 | 4. 人と情報が活発に行き交ふれあいと連携のまちづくり | 2. 道路 | 市道矢ノ目沢金沢線・清水原一関線道路改良事業 | 市道矢ノ目沢金沢線及び市道清水原一関線を改良整備する。 | 市 | 582,682 | 210,390 | 【H26年度実績】 1. 道路改良等工事費 9件 207,541千円 (1) 道路改良(第11～15工区) 5件工事 198,581千円 (2) その他道路改良工事 4件 8,960千円 2. 用地等購入費 11件 249千円 3. 事務費 1式 2,600千円 ※H26⇒H27繰越額 366,900千円 | (課題) 国道342号交差点付近に42名の共有地があり土地取得について難航している。 (対応状況) ・平成27年秋の共用開始を目指しているが、共有地取得が困難なため、交差点部が暫定改良となる見込みである。 ・共用開始後においても、引き続き共有地取得事務を進めることとする。 | 建設部 |
| 96 | 4. 人と情報が活発に行き交ふれあいと連携のまちづくり | 2. 道路 | 山目駅前釣山線(竹山工区)道路整備(街路)事業 | 岩手県が実施する山目駅前釣山線(竹山工区)道路整備事業に対する負担金。 | 県 | 151,056 | 65,536 | (県委託事業) ・用地購入 10,387千円 ・物件移転補償費 50,480千円 ・道路改良県事業負担金 4,355千円 ・事務費 314千円 (繰越明許費) 66,737千円 | | 建設部 |
| 97 | 4. 人と情報が活発に行き交ふれあいと連携のまちづくり | 2. 道路 | 市道中駒場線道路改良事業 | 市道広域千厩線から千厩中学校を經由県立千厩病院を結ぶ基幹道路を整備する。 | 市 | 97,995 | 69,593 | 【H26年度実績】 1. 道路改良等工事費 68,616千円 L=270.0m 工期 平成26年7月9日～平成27年3月2日 2. 事務費 1式 977千円 ※H26⇒H27繰越額 26,136千円 | ※事業完了し平成27年7月27日に開通。 | 建設部 |
| 98 | 4. 人と情報が活発に行き交ふれあいと連携のまちづくり | 2. 道路 | 市道原沢1号線道路改良事業 | 一般県道相川平泉線から東山地域田河津地区を結ぶ道路を整備する。 | 市 | 173,821 | 68,263 | 【H26年度実績】 1. 測量等委託料 3件 689千円 2. 道路改良等工事費 2件 61,012千円 L=100.0m 工期 平成26年11月10日～平成27年3月27日 3. 用地購入費 3件 2,890千円 4. 物件移転等補償費 4件 2,460千円 5. 事務費 1式 1,212千円 ※H26⇒H27繰越額 105,554千円 | (課題) この路線は東山地域の市道丸木舞川線道路改良事業と一連の路線のため東山工区との調整を図りながら事業を進める必要がある。 | 建設部 |

| 整理No. | まちづくりの目標 | 後期基本計画 施策項目 | 事業名称 | 事業の概要 | 事業 主体 | 平成26年度 予算額 | 平成26年度 決算額 | 実績 | 事業実施による問題・課題及び対応 | 部の名称 |
|-------|------------------------------|----------------|----------------------|---|----------|---------------|---------------|---|---|----------|
| 99 | 4. 人と情報が活発に行き交うふれあいと連携のまちづくり | 2. 道路 | 市道丸木舞川線道路改良事業 | 東山地域田河津地区と一関地域舞川地区を結ぶ幹線道路を整備する。 | 市 | 68,657 | 235 | 【H26年度実績】 1. 事務費 1式 235千円 ※H26⇒H27繰越額 52,920千円 | ・市道原沢1号線道路改良事業との連携、舞川簡易水道配水管敷設工事と調整を図りながら事業を進める必要がある。 ・用地交渉の難航により、工事費を全額次年度に繰り越した。 | 建設部 |
| 100 | 4. 人と情報が活発に行き交うふれあいと連携のまちづくり | 4. 地域情報化 | テレビ共同受信組合運営費等補助金 | 共同で設置しているテレビ共同受信施設の老朽化に伴う修繕費補助及び施設維持にかかる運営費に対する補助を行う。 | 組合 | 22,894 | 4,248 | テレビ共同受信施設維持管理費補助金(60団体)4,248千円 (繰越明許費) テレビ共同受信施設改修等補助金20,000千円 | 1. 老朽化に伴う修繕費補助の改修の仕様や交付基準が明確ではなかったため、交付要綱を改正した。 2. 老朽化施設改修費は高額であり、組合員の減少・高齢化が進むなかでは、組合単独で改修事業を行うのは困難である。国・県等の補助事業もないため、継続的に要望している。 | 総務部 |
| 101 | 4. 人と情報が活発に行き交うふれあいと連携のまちづくり | 5. 地域づくり活動 | いちのせき元気な地域づくり事業 | 地域住民と行政との創意工夫により、各地域で特色ある地域づくりのための事業を行う。 | 市 | 109,587 | 81,028 | 地域住民と行政との創意工夫により、各地域で特色のある地域づくりのための事業を実施した。 ○総事業数 148事業 81,028千円 【内訳】・一関地域 30事業 14,497千円 ・花泉地域 16事業 11,662千円 ・大東地域 15事業 11,222千円 ・千厩地域 12事業 8,605千円 ・東山地域 22事業 7,253千円 ・空根地域 18事業 7,803千円 ・川崎地域 19事業 8,389千円 ・藤沢地域 16事業 11,118千円 ・懇談組織研修等 479千円 | | まちづくり推進部 |
| 102 | 5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり | 2. 森林 | 森林整備地域活動支援交付金 | 森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう、必要な活動に取り組み森林所有者に対する交付金。 | 森林組合等 | 14,280 | 8,828 | 推進事務費 178,658円(需用費等) 交付金 8,649,280円、交付先 一関地方森林組合 積算内容 1,081.16ha × @8,000円 森林経営計画作成促進 | | 農林部 |
| 103 | 5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり | 3. 公園・都市緑化 | 磐井川かわづくり整備事業 | 磐井川堤防改修に伴い、河川緑地帯などの整備する。 | 市 | 1,000 | 796 | 磐井川堤防桜苗木管理業務委託等 796千円 | | 建設部 |
| 104 | 5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり | 3. 公園・都市緑化 | 街区公園整備事業 | 公園遊具の維持・修繕・更新等を行い、安全性の確保と、施設機能の維持を推進する。 | 市 | 3,000 | 1,810 | 遊具更新工事 1,810千円 | | 建設部 |
| 105 | 5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり | 4. 低炭素社会 | 新エネルギー等導入事業費補助事業 | 地球温暖化対策のため、環境負荷の少ない新エネルギー及び省エネルギー設備の導入に対して補助する。 | 設置者 | 10,633 | 10,633 | 新エネルギー等設備導入の普及促進及び環境に関する意識の高揚を図るとともに、低炭素社会を構築するため、住宅用太陽光発電システムの設置に対し補助金を交付した。 | 新エネ・省エネルギービジョンに基づく温暖化対策・低炭素社会構築に向けた取り組みであり、引き続き導入を促進していく必要がある。 | 市民環境部 |
| 106 | 5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり | 4. 低炭素社会 | 地球温暖化対策推進事業(広報・啓発事業) | 温暖化対策を啓発し、一関地球温暖化対策地域協議会が発行する温暖化対策に係る広報啓発事業等に対して補助する。 | 市・協議会 | 851 | 851 | 一関地球温暖化対策地域協議会が地球温暖化に関する広報紙(広報eco)を年2回全世界に配布する事業など、一関地球温暖化対策協議会の活動に対し補助を行い、地球温暖化対策の取組みへの支援に努めた。 | 一関地球温暖化対策地域協議会の財政基盤が確立していないため(会費で運営)、事業費の確保が困難な状況であり、引き続き支援の必要がある。 | 市民環境部 |
| 107 | 5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり | 6. 住環境・市営住宅・景観 | 景観形成事業 | 一関市景観計画及び本寺地区景観計画に基づき、景観計画を生かした魅力ある地域づくりを進める。 | 市等 | 2,110 | 159 | 景観審議会等事務経費 158千円 | | 建設部 |
| 108 | 5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり | 6. 住環境・市営住宅・景観 | みんなで地域の景観まちづくり事業 | 景観まちづくりに資する住民主体組織の景観形成活動に対して事業費の一部を補助する。 | 団体 | 3,000 | 587 | 景観まちづくり事業補助金 587千円 | | 建設部 |
| 109 | 5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり | 7. 上水道 | 厳美・萩荘簡易水道事業 | 未普及地域の整備促進、良好な水源の維持確保、浄化処理施設の整備、老朽管の更新等を実施する。 | 市 | 297,200 | 266,293 | 導水連絡管布設工事 φ150 L=120m 配水管布設工事 φ75~200 L=839m 岩城水管橋建設工事 1式 岩城水管橋建設用地購入等 1式 | ・国庫補助事業はH26で完了 ・道路橋新設に伴う添架配水管の移設をH27に実施予定 | 上下水道部 |
| 110 | 5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり | 7. 上水道 | 舞川簡易水道事業 | 〃 | 市 | 60,300 | 55,761 | 配水管布設工事 φ50~75 L=1,336m | ・舞川地区に隣接した東山町長平地区の拡張要望があることから、H26に事業変更の届出を行った。 道路改良工事とあわせて配水管整備をH27に実施予定 | 上下水道部 |
| 111 | 5. 水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり | 7. 上水道 | 大原簡易水道事業 | 未普及地域の整備促進、良好な水源の維持確保、浄化処理施設の整備、老朽管の更新等を実施する。 | 市 | 120,252 | 119,604 | 送水管布設工事 φ75~100 L=915m 配水管布設工事 φ50~100 L=2,406m 横道配水池、暮坪ポンプ場用地購入等 1式 | ・給水要望があった横道・暮坪地区の拡張認可をH25に取得し、H26から事業に着手。 | 上下水道部 |

H26実施計画事業 先導的事業抜出一覧

単位:千円

| 整理No. | まちづくりの目標 | 後期基本計画 施策項目 | 事業名称 | 事業の概要 | 事業主体 | 平成26年度 予算額 | 平成26年度 決算額 | 実績 | 事業実施による問題・課題及び対応 | 部の名称 |
|-------|-----------------------------|----------------|------------------------------|---|------|---------------|---------------|--|---|-------|
| 112 | 5. 水と緑を守り 育み自然と共生するまちづくり | 7. 上水道 | 摺沢簡易水道事業 | 〃 | 市 | 47,133 | 44,527 | 配水管布設工事 φ100 L=1,170m 摺沢浄水場外構等工事 1式 洪民浄水場、配水池用地購入等 1式 | ・クリプト対策として膜ろ過による浄水設備を、摺沢浄水場にはH25に整備し、洪民浄水場はH27及びH28に建設する予定である。 | 上下水道部 |
| 113 | 5. 水と緑を守り 育み自然と共生するまちづくり | 7. 上水道 | 興田・猿沢簡易水道事業 | 〃 | 市 | 284,515 | 279,644 | 送水管布設工事 φ75 L=2,538m 配水管布設工事 φ50~100 L=8,934m 送水ポンプ更新工事 1式 | ・認可区域内における未整備地区の配水管布設を進めているが、接続率の向上を図るため各地区の水道利用組合設立が図られている。 | 上下水道部 |
| 114 | 5. 水と緑を守り 育み自然と共生するまちづくり | 7. 上水道 | 磐清水・奥玉・小梨簡易水道事業 | 〃 | 市 | 127,000 | 126,958 | 配水管布設工事 φ50~75 L=6,035m 舗装復旧工事 1式 ポンプ等更新工事 1式 | ・接続率が低かったことから、水道利用組合の設立支援や融資あっせん制度の活用を働きかけ一定の成果ができた。 | 上下水道部 |
| 115 | 5. 水と緑を守り 育み自然と共生するまちづくり | 7. 上水道 | 田河津簡易水道事業 | 〃 | 市 | 21,300 | 21,297 | 配水管布設替工事 φ100 L=266m 送水管布設替工事 φ100 L=266m 舗装復旧工事 1式 水位計更新工事 1式 | ・H25に補助事業は完了した。 ・老朽管の更新及び水道未普及地域である矢ノ森地区の整備を検討する必要がある。 | 上下水道部 |
| 116 | 5. 水と緑を守り 育み自然と共生するまちづくり | 7. 上水道 | 折壁簡易水道事業 | 〃 | 市 | 26,800 | 26,800 | 配水管布設工事 φ75 L=686m 配水管布設替工事 φ100~150 L=124m 水位計更新工事 1式 | ・室根バイパス西側に新設される産直施設及びトイレ施設への給水に対応してH27に配水管を整備予定である。 | 上下水道部 |
| 117 | 5. 水と緑を守り 育み自然と共生するまちづくり | 7. 上水道 | 川崎簡易水道事業 | 〃 | 市 | 185,000 | 166,080 | 川崎浄水場建設(建築)工事 1式 ポンプ等更新工事 1式 発電機設置工事 1基 物件移転等補償 2件 | ・クリプト対策としてH26からH28に川崎浄水場を建設し膜ろ過設備を設置する予定である。 | 上下水道部 |
| 118 | 5. 水と緑を守り 育み自然と共生するまちづくり | 8. 下水道 | 磐井川流域関連一関公共下水道事業 (流域建設事業) | 県が実施する磐井川流域関連一関公共下水道(一関処理区)建設事業に対する負担金。 | 市 | 106,619 | 48,744 | 一関浄化センター中央監視装置他更新工事 沈砂地設備他更新工事(電気) 水処理設備・建築設備長寿命化設計 平泉ポンプ場計装設備更新工事 一関幹線幹線ゲート設備長寿命化設計・用地取得 | | 上下水道部 |
| 119 | 5. 水と緑を守り 育み自然と共生するまちづくり | 8. 下水道 | 磐井川流域関連一関公共下水道事業 | 公共下水道計画区域の管渠整備等を実施する。 | 市 | 1,071,838 | 966,185 | ・業務委託費 20,267千円 磐井川流域関連一関公共下水道効率の事業実施計画策定業務委託ほか4件 ・工事費 915,994千円 磐井川流域関連一関公共下水道釜ヶ淵地区他枝線工事ほか19件 公共ます設置工事等36件 ・物件移転補償費 24,397千円 一関公共下水道釜ヶ淵地区他枝線工事に伴う配水管移設補償ほか5件 ・事務費 5,527千円 | | 上下水道部 |
| 120 | 5. 水と緑を守り 育み自然と共生するまちづくり | 8. 下水道 | 特定環境保全公共下水道事業 (花泉処理区) | 〃 | 市 | 87,506 | 87,502 | ・委託費 4,999千円 天神前地区浸水対策基本設計業務委託ほか1件 ・工事費 82,397千円 一関市特定環境保全公共下水道(花泉処理区)清水地区枝線その5工事ほか3件 公共樹設置工事 3件 ・事務費 1式 106千円 | | 上下水道部 |
| 121 | 5. 水と緑を守り 育み自然と共生するまちづくり | 8. 下水道 | 特定環境保全公共下水道事業 (摺沢処理区) | 浄化センターの消毒装置の改築を行う。 | 市 | 6,307 | 6,117 | 変更認可申請書作成業務委託 1式 消毒施設基本設計業務委託 1式 消毒施設詳細設計業務委託 1式 公共ます設置工事 3箇所 | | 上下水道部 |
| 122 | 5. 水と緑を守り 育み自然と共生するまちづくり | 8. 下水道 | 特定環境保全公共下水道事業 (大原処理区) | 〃 | 市 | 7,099 | 6,908 | 変更認可申請書作成業務委託 1式 消毒施設基本設計業務委託 1式 消毒施設詳細設計業務委託 1式 公共ます設置工事 2箇所 | 平成27年度に消毒施設の改築を行う予定であったが、詳細設計の結果、事業費が当初見込みより増となり、平成28年度にずれ込み見込みである。 | 上下水道部 |
| 123 | 5. 水と緑を守り 育み自然と共生するまちづくり | 8. 下水道 | 公共下水道事業 (千厩処理区) | 公共下水道計画区域の管渠整備等を実施する。 | 市 | 180,505 | 180,156 | 【H26年度実績】 1.業務委託 9,191千円 一関市公共下水道(千厩処理区)神ノ田地区枝線工事現場技術業務委託ほか3件 2.工事費 162,324千円(内8,243千円は、H27へ繰越) 一関市公共下水道(千厩処理区)神ノ田地区枝線工事ほか3件 L=1,033.1m 3.補償費 5,990千円 一関市公共下水道(千厩処理区)千厩川左岸幹線工事に伴う配水管移設補償 | | 上下水道部 |

H26実施計画事業 先導的事業抜出一覧

単位:千円

| 整理No. | まちづくりの目標 | 後期基本計画 施策項目 | 事業名称 | 事業の概要 | 事業 主体 | 平成26年度 予算額 | 平成26年度 決算額 | 実績 | 事業実施による問題・課題及び対応 | 部の名称 |
|-------|-----------------------------|----------------|------------------------|-------------------------|----------|---------------|---------------|---|------------------|-------|
| 124 | 5. 水と緑を守り 育み自然と共生するまちづくり | 8. 下水道 | 浄化槽設置整備事業【市設置型】大東地域 | 市が設置主体となり住宅に浄化槽を設置する。 | 市 | 47,063 | 46,841 | 【H26年度実績】 快適な生活環境の整備と河川の水質保全を図るため、下水道事業・農業集落排水事業の計画区域外の地域を対象に32基を整備した。 (5人槽4基、7人槽27基、10人槽1基) H26年度末の設置基数は、680基 | | 上下水道部 |
| 125 | 5. 水と緑を守り 育み自然と共生するまちづくり | 8. 下水道 | 浄化槽設置整備事業【市設置型】東山地域 | 〃 | 市 | 24,591 | 9,610 | 【H26年度実績】 快適な生活環境の整備と河川の水質保全を図るため、下水道事業・農業集落排水事業の計画区域外の地域を対象に7基を整備した。 (5人槽 2基、7人槽 5基、10人槽 0基) H26年度末の設置基数は、283基 | | 上下水道部 |
| 126 | 5. 水と緑を守り 育み自然と共生するまちづくり | 8. 下水道 | 浄化槽設置整備事業【市設置型】川崎地域 | 〃 | 市 | 15,118 | 13,487 | 【H26年度実績】 快適な生活環境の整備と河川の水質保全を図るため、下水道事業・農業集落排水事業の計画区域外の地域を対象に10基を整備した。 (5人槽 3基、7人槽 7基) H26年度末の設置基数は、223基 | | 上下水道部 |
| 127 | 5. 水と緑を守り 育み自然と共生するまちづくり | 8. 下水道 | 浄化槽設置整備事業【個人設置型】(一関地域) | 個人が設置する浄化槽の設置費用に対し補助する。 | 市 | 86,083 | 64,781 | 【H26年度実績】 生活排水による水質汚濁を防止し、快適で豊かな生活環境の実現を図るため、補助金を交付し、浄化槽の普及促進に努めた。 浄化槽設置整備事業補助金 104基 (5人槽 36基、7人槽 65基 10人槽 3基) 平成26年度末の総設置基数 1,981基 | | 上下水道部 |
| 128 | 5. 水と緑を守り 育み自然と共生するまちづくり | 8. 下水道 | 浄化槽設置整備事業【個人設置型】(花泉地域) | 〃 | 市 | 23,170 | 17,738 | 【H26年度実績】 生活排水による水質汚濁を防止し、快適で豊かな生活環境の実現を図るため、28基に対し補助金を交付し、浄化槽の普及促進に努めた。 浄化槽設置整備事業補助金 28基 (5人槽 6基、7人槽 22基) H26年度末の総設置基数 855基 | | 上下水道部 |
| 129 | 5. 水と緑を守り 育み自然と共生するまちづくり | 8. 下水道 | 浄化槽設置整備事業【個人設置型】(千厩地域) | 〃 | 市 | 23,170 | 20,912 | 【H26年度実績】 生活排水による水質汚濁を防止し、快適で豊かな生活環境の実現を図るため、補助金を交付し、浄化槽の普及促進に努めた。 浄化槽設置整備事業補助金 34基 (5人槽 12基、7人槽 22基) 平成26年度末の総設置基数 720基 | | 上下水道部 |
| 130 | 5. 水と緑を守り 育み自然と共生するまちづくり | 8. 下水道 | 浄化槽設置整備事業【個人設置型】(室根地域) | 〃 | 市 | 19,860 | 14,929 | 【H26年度実績】 生活排水による水質汚濁を防止し、快適で豊かな生活環境の実現を図るため、補助金を交付し、浄化槽の普及促進に努めた。 浄化槽設置整備事業補助金 23基 (5人槽 4基、7人槽 18基、10人槽 1基) H26年度末の総設置基数 477基 | | 上下水道部 |
| 131 | 5. 水と緑を守り 育み自然と共生するまちづくり | 8. 下水道 | 浄化槽設置整備事業【個人設置型】(藤沢地域) | 〃 | 市 | 19,860 | 15,752 | 【H26年度実績】 生活排水による水質汚濁を防止し、快適で豊かな生活環境の実現を図るため、補助金を交付し、浄化槽の普及促進に努めた。 浄化槽設置整備事業補助金 25基 (5人槽 6基、7人槽 19基) H26年度末の総設置基数 609基 | | 上下水道部 |
| 計 | | | | | | 11,100,080 | | | | |

H25実施計画事業のうちH26年度繰越分 先導的事業抜出一覧

単位:千円

| 整理No. | まちづくりの目標 | 後期基本計画施策項目 | 事業名称 | 事業の概要 | 事業主体 | 平成26年度繰越予算額 | 平成26年度決算額 | 実績 | 事業実施による問題・課題及び対応 | 部の名称 |
|-------|-----------------------------|-----------------------|------------------------|--|------|-------------|-----------|---|---|-------|
| 1 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 7. 一ノ関駅と中心市街地の戦略的活用 | 歴史の小道整備事業 | 市街地の回遊、散策、憩いの場として、中街を整備し、安全で安心な居住環境整備を図る。 | 市 | 5,453 | 5,062 | 調査設計業務委託 5,062千円 | | 建設部 |
| 2 | 1. 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり | 7. 一ノ関駅と中心市街地の戦略的活用 | 桜の小道整備事業 | 磐井川堤防嵩上げに伴い、道路の付け替えにより生じた残地の取得を含め、整備する。 | 市 | 5,000 | 3,766 | 張芝工事 3,766千円 | | 建設部 |
| 3 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 4. 防災(治水・治山を含む) | 防災行政情報システム整備事業 | 防災行政無線(同報系)により災害時の情報及び行政情報を市内全域に一斉に伝達するシステムの整備を行う。 | 市 | 193,415 | 72,031 | 平成24年度から平成26年度までの継続事業として防災行政情報システム整備を行い、平成27年3月10日完成した。 (1) システム整備工事費(通次繰越) 62,606千円 (2) 工事管理委託料(通次繰越) 9,425千円 | | 消防本部 |
| 4 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 5. 消防・救急・救助 | 消防屯所建設事業(花泉) | 消防資機材の保管、災害時の消防団の待機場所及び活動拠点となる消防屯所を整備する。 | 市 | 14,775 | 9,755 | 1棟9,755千円 | | 消防本部 |
| 5 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 5. 消防・救急・救助 | 消防屯所建設事業(大東) | 〃 | 市 | 38,967 | 33,451 | 2棟33,451千円 | | 消防本部 |
| 6 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 5. 消防・救急・救助 | 消防屯所建設事業(東山) | 〃 | 市 | 1,438 | 853 | 実施設計853千円 | | 消防本部 |
| 7 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 5. 消防・救急・救助 | 消防屯所建設事業(室根) | 〃 | 市 | 48,332 | 35,316 | 2棟35,316千円 | | 消防本部 |
| 8 | 2. みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり | 9. 健康づくり | 一関保健センター移転整備事業 | 保健センター他、保健及び福祉関係の複合的な施設を建設するもの。 | 市 | 6,000 | 5,492 | 【H26年度実績】 新一関保健センター建設に係る外構測量設計業務委託を行った。 (繰越明許分) 外構測量設計業務委託 5,492千円 | | 保健福祉部 |
| 9 | 3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり | 1. 生涯学習 | 新一関図書館整備事業 | 一関図書館を移転改築し、中央図書館機能を有する図書館を整備する。 | 市 | 135,642 | 128,052 | 新一関図書館外構工事、駐輪場等 | | 教育部 |
| 10 | 3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり | 2. 義務教育・高等学校教育・高等教育機関 | 磐井中学校整備事業 | 山目中学校、中里中学校の統合に向け、統合校の校歌を作曲する。また、中里方面からの進入路建設に係る測量を行う。 | 市 | 5,200 | 1,626 | 1.委託料 1,326千円 進入路測量業務委託 2.報償費 300千円 校歌作曲謝礼 | | 教育部 |
| 11 | 3. 人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり | 2. 義務教育・高等学校教育・高等教育機関 | (仮称)西部第二中学校給食センター整備事業 | 西部学校給食センター北側に1,000食規模の西部第2給食センターを整備する。 | 市 | 6,121 | 5,863 | 委託料 5,863千円 給食センター建設工事他実施設計業務委託 | | 教育部 |
| 12 | 4. 人と情報が活発に行き交ふれあいと連携のまちづくり | 2. 道路 | 市道矢ノ目沢金沢線・清水原一関線道路改良事業 | 市道矢ノ目沢金沢線及び市道清水原一関線を改良整備する。 | 市 | 313,759 | 313,757 | 1. 測量等委託料 6件 1,192千円 2. 道路改良等工事費 4件 308,826千円 (1) 道路改良(第9工区)工事 48150千円 L= 400.0m 工期 平成25年9月9日～平成26年7月31日 (2) 道路改良(第10工区)工事 132,355千円 L= 500.0m 工期 平成26年4月14日～平成27年1月13日 (3) 道路改良(第11工区)工事 121,423千円 L= 898.4m (全体契約額 142,348千円) 工期 平成26年4月14日～平成27年1月13日 (4) その他道路改良工事 1件 632千円 3. 用地等購入費 1件 30千円 4. 物件移転等補償費 5件 3,709千円 | (課題) 国道342号交差点付近に42名の共有地があり土地取得について難航している。 (対応状況) ・平成27年度秋の共用開始を目指しているが、取得が困難なため、交差点部が暫定改良となる見込みである。 ・共用開始後においても、引き続き取得事務を進めることとする。 | 建設部 |

H25実施計画事業のうちH26年度繰越分 先導的事業抜出一覧

単位:千円

| 整理No. | まちづくりの目標 | 後期基本計画 施策項目 | 事業名称 | 事業の概要 | 事業 主体 | 平成26年度 繰越予算額 | 平成26年度 決算額 | 実績 | 事業実施による問題・課題及び対応 | 部の名称 |
|-------|--|--------------------|----------------------|---|----------|-----------------|---------------|---|---|-----------|
| 13 | 4. 人と情報が 活発に行き交う ふれあいと連 携のまちづくり | 4. 地域情報化 | テレビ共同受信組合運営費等 補助金 | 共同で設置しているテレビ共同受信施設の老朽 化に伴う修繕費補助及び施設維持にかかる運 営費に対する補助を行う。 | 組合 | 18,000 | 17,872 | テレビ難視聴地区解消事業費補助金(3組合) | 老朽化施設改修費は高額であり、組合員の減少・高齢化 が進むなかでは、組合単独で改修事業を行うのは困難で ある。国・県等の補助事業もないため、継続的に要望して いる。 | 総務部 |
| 14 | 5. 水と緑を守 り育み自然と共 生するまちづく り | 6. 住環境・市 営住宅・景観 | 景観形成事業 | 一関市景観計画及び本寺地区景観計画に基づ き、景観計画を生かした魅力ある地域づくりを進 める。 | 市等 | 2,054 | 2,052 | 一関市景観計画変更計画修正業務委託 2,052千円 | | 建設部 |
| 15 | 5. 水と緑を守 り育み自然と共 生するまちづく り | 8. 下水道 | 磐井川流域関連一関公共下 水道事業 | 公共下水道計画区域の管渠整備等を実施す る。 | 市 | 40,000 | 39,900 | ・工事費 38,266千円 ・磐井川流域関連一関公共下水道山目幹線その3工事ほか2件 ・物件移転補償費 1,634千円 ・磐井川流域関連一関公共下水道山目幹線その3工事に伴う配水管移設補償 | | 上下水道 部 |
| 16 | 5. 水と緑を守 り育み自然と共 生するまちづく り | 8. 下水道 | 公共下水道事業 (千厩処理区) | 公共下水道計画区域の管渠整備等を実施す る。 | 市 | 46,000 | 45,599 | 【H26実績】 1.業務委託 8,889千円 一関市公共下水道(千厩処理区)古ヶ口地区設計業務委託ほか1件 2.工事費 36,710千円 一関市公共下水道(千厩処理区)北方地区他舗装復旧工事 L=1,409.7m | | 上下水道 部 |
| 計 | | | | | | 880,156 | 720,447 | | | |